

山梨県立ろう学校第2回学校運営協議会 協議結果等について

日時：令和5年11月27日（月） 14:00～15:40

場所：山梨県立ろう学校 文化交流会館 交流ホール

<次 第>

- 1 はじめの言葉（司会）
- 2 会長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 出席者紹介
- 5 議事〈議長：会長〉
 - (1) 令和5年度ろう学校「学校評価」中間評価について（教頭）
 - (2) その他
- 6 報告
 - (1) 第2回いじめ実態アンケート調査について（生徒指導主事）
 - (2) ろう学校交流及び共同学習について（渉外交流主任）
 - (3) その他
- 7 連絡事項
 - (1) 次回の予定 2月26日（月）第3回 学校運営協議会
 - (2) その他
- 8 意見・懇談（各委員の方々から）
- 9 閉会の言葉（司会）

<議事>

- (1) 令和5年度ろう学校「学校評価」中間評価について学校より説明
- (2) その他 → 特になし

※ 委員の皆様より

- ・本校の特徴がよく出ている。働き方改革の推進について、「十分達成」「ほぼ達成」が多い反面、「不足」が6人となっていることについてどのように分析するか？
→ 様々な取り組みにより、改善されているが、先生方の実感が持てない部分もあると思うので、今後もさらに働き方改革を推進する。本日、委員の皆様の手元に、山梨県教育委員会から保護者・地域の皆様に向けた働き方改革の推進に向けたリーフレットを配布させていただいた。QRコードから、教育長のメッセージ動画にリンクしているのでぜひご覧いただきたい。
- ・行事や会議の精選をして、まだ忙しいと感じるのは、効率的に指導にあたるという考えが不足しているのではないか。教員が手を出しすぎずに、見守ることが必要なこともある。
- ・人数が少ないので、度数が少ないとぶれるという統計上の特性がある。去年は高すぎだと思うので、今年度は適正な評価なのではないか。学校が進化していると感じるため、しっかりと見るべき点や改善するべき点を把握すればよい。
- ・気になるところは、進路関係。保護者と教員ともに低い。高校生になると現実的になってくるが、小学部や年齢が下になるほど目の前のことに精一杯で、将来のことを考えることができない。学校からの発信をもっと増やした方がよいのではないか。
- ・保護者の自由記述で、宿題が多すぎるという意見がある。勉強をしないと将来苦労をするので、現状に合った宿題を考えることが重要である。しっかりと周囲の人と

コミュニケーションを図ることができるように勉強をすることが大切だと感じる。

- ・手話にもいろいろあるが、学校教育で使う手話は、読み書きにつながる手話が必要である。教科指導で教科書を読んで、わからないと困るし、自分で書いて伝えられる力を伸ばす教育も重要なのではないか。
- ・幼小くらいだとキャリア教育が将来に直結しないため実感が持てないが、ろう学校の子どもたちは幼少期からの積み重ねが高等部で花開く力をつけている。そのため、保護者も安心してろう学校に任せることができていると感じる。
- ・今後に向けて、アンケートで意見が割れているところの細かな分析が重要であり、対策を講じて改善への取り組みを行うことが大切である。

<報告>

(1) 第2回いじめ実態アンケート調査について学校より報告

(2) ろう学校交流及び共同学習について学校より報告

※(1)(2)の報告について、特に意見・質問等はなし

(3) その他

- ・第1回学校運営協議会での質問に対する回答
→3種類の研修を実施しており、令和5年度若干増えている。コロナ禍での工夫として、基礎研修をオンデマンド研修へ移行する等、空き時間を活用しての研修もできるように調整をしながら進めている。

<意見・懇談>

- ・中間評価ではあるが、取り組みや課題、順調に進んでいるところなどの確認ができた。働き方改革もあるが、より一層の充実した学校運営に取り組めるよう協力したい。
- ・ろう学校の先生になりたいという人が増えるような取り組みをしていきたい。運動会に卒業生が多く来校していたことも嬉しい。
- ・昨年度に比べ実態に応じた評価になっていてよかった。運動会はとても充実していた。
- ・学校としてもこの会の意見を受けて取り組んでくれている。実際に働いている先生方が楽しいと思うことが大切だと思う。学校評価もプラスに捉えるとよい。
- ・コロナ5類以降後、家庭で行事のことを話す機会も増えて嬉しく思う。コロナ禍では給食も黙食だった。私の子供が小さかったときは給食を全校で一緒に食べていて、中高等部のお兄さんお姉さんの姿を見て、将来の自分を想像することにつながっていたと思うので、また一緒に食べることができるとよい。
- ・家庭において、一人だけ聞こえないときに、かわいそうだから大事に囲むという考え方もあるが、親はいずれいなくなる。自立に向けた教育が重要である。

<連絡事項>

(1) 次回の予定 2月26日(月)第3回 学校運営協議会

(2) その他

- ・配布リーフレットの教育長からのメッセージは、QRコードからYouTube視聴可能
- ・立正光生園からの案内「里親養育制度の案内」「子ども家庭ソーシャルワーク研修」

以上